

一般質問通告書

多可町議会議員 河崎 一 様

多可町議会議員 笹倉 政芳



平成26年3月10日

受領 午前 〇時 〇〇分
午後

質問の項目及び要旨

答弁を求める者

1. 地域の防災と安全の確保について

町長

近年全国各地で水害に悩まされていますが、多可町に於いても平成23年9月の台風12号又、平成25年9月2日のゲリラ豪雨と立て続けに被害に遭ったことは町長の記憶に新しいと思います。中でも平成25年の雨量は1時間に113ミリを記録する豪雨となりました。特に加美区多田の一級町道多田三谷線西の山谷合いからの濁流はもの凄いのもので、瞬く間に側溝から水が溢れ出し、どこが道路でどこが水路なのかまったく分からない大変危険な状態に陥り、地域一帯が床上浸水や床下浸水となりました。ひとつ間違えば人の命を奪いかねない事態であったと思います。23年の台風と度重なる被害を受けられた一人暮らしの方は、「こんな怖い所は出ていきたい。」と悲痛な訴えもされています。本来、河川に関わる工事は下流からが原則と聞きますが、いかに経済的な理由とはとはいえ復旧工事のみで終わるのではなく、杉原川支流の一級河川多田川に通ずる排水路工事計画を再度検討して住民の皆さんに理解と協力を得るべきではないかと思えます。県による治山工事は現在行われていますが、殿池(トンの池)下の復旧工事は4年間で都合3回目の工事をされている状況を鑑み、今後予定されている改修計画はどうなっているのか、お聞かせをいただきたいと思えます。また、この一級町道多田三谷線は、平成の初めに松井小学校から熊野部地区が2車線に拡幅されましたが、合併後に見通しが悪く道路幅員の狭い個所の改修を岩座神・棚釜・多田の3集落から要望されていますが、まだ改修されていない状況です。当局の見解を聞かせていただきたい。この町道は、棚田での都市との交流や社会福祉法人ヘルシービラ加美への人の出入りが頻繁にあり、又最近にサンフォレストのソーラーパネルによる大型太陽光発電基地の誘致もあり、さらに拡張が計画されているなか集落以外の方の出入りが多い道路で、関係者や訪問者の重大事故も起きています。地元の皆さんの通勤や通学時は特に危険であります。この3集落は県道もない地域であり、主要町道である多田三谷線沿いの排水路工事と危険な個所の道路拡幅のビジョンを提示し、地域の皆さんに安心と安全を担保するべきではないでしょうか。町長の答弁を求めます。

2. 老朽化した橋梁について

町長

毎年のように、集中豪雨に襲われるようになった今日、地域と地域を繋ぐ安全な橋の必要性が、一層問われるようになってきました。多可町に於いても、老朽化した橋梁の点検を実施して頂いておる所でございますが、かつて多可町地域の橋は木製が大半でありました。例えば加美区の郷領橋は杉原川に大水が出る度に流出し、行き来もままならない状態でありましたが、昭和 36 年 11 月に現在の鉄筋の橋が掛ったことで、「これで安心して地域の交流が出来る」と涙ながらに喜ばれたそうです。昭和 38 年の大雨で殆どの橋が流出したにも関わらず郷領橋が生き残り旧加美町民や県道通行者のライフラインとして大いに活用されました。

しかしながら、平成 15 年に至り、町から老朽化に伴い耐久性に問題があるので 2.5 トン以下の通行制限が言い渡され、御領の住民や特に 2 トン車以上の運搬を要する事業者や、保育所の通園バスまで通行禁止となっています。以来豊部の区長からは何回となく安心して往来が出来る橋を求める集落要望が出されている状況です。築 40 年以上も経過し老朽化の頻度を重ねた郷領橋に対する町当局の展望をお聞かせ願いたい。多可町に点在する老朽化した橋の対策はどのように進めておられますか？合わせてお聞かせください。

3.

☆ 一般質問の通告期限は 3 月 14 日（金）午後 0 時 00 分までです。
質問要旨はできるだけ詳細にお願いいたします。